愛知 AICHI

総愛知女子部が部長会

幾愛知女子部の部長 本舞さん(東海圏)が15日午前、中部池田記念会館で開催された(写真)。

吉井総合女子部長の幸福を願い、勇気のあいさつに続き、山田恵さん(名東区)、柿沼幸さん(中部)が22日誕生日を迎える。

総愛知女子部長が、友人の対話に挑戦する模様を報告。吉川一歩を踏み出していこうと呼び掛けた後、有志による広布史の研究発表が行われた。

清水女子部長は、華陽のスクラムで大歓喜の渦を巻き起こし、幸福の花を咲き薫らせようと念願。松波中部婦人部長が逆境に負けず、青春の誓いを果たし抜こうと励ました。

中部女子学生部 新入生歓迎部員会

希望の翼を広げゆけ！―中部女子学生部の新入生歓迎部員会が22日夜、中部池田記念会館で(写真)。

小林中部女子学生部長は「師と共に歩む喜び」を胸に、青春の挑戦を」と呼び掛けた。

新入生を代表して、井上れみさん(中勢本陣圏)が抱負を披露。

続き、自己紹介を兼ねたレクリエーションにぎやかに行った。

松波中部女子部長が「友情のスクラムを拡大し、幸福と歓喜の道に地域の住民から称賛の声が寄せられた。

3人は「ご婦人と息子さんが、助かって本当に良かったです。

〝一人を大切に〟との学会精神が、いざという時に生かされました」と笑顔で語る。

【中部女子学生部】〒461-0023 名古屋市東区泉町4-11

話題

人命救助に貢献 警察から感謝状

このほど、人命救助に尽力した五島初美さん=春日井署勝圏・味美支部、婦人部副本部長、写真②、佐藤幸子部長、同③、支部副婦人部長、同④、永田あゆみさん=同、地区副婦人部長、同中=に、春日井警察署から感謝状が贈られた。

3月中旬の早朝、本紙配達員の永田さんが、高齢の婦人宅のポストに新聞が残っているのを不審に思い、近隣に住む佐藤さんと五島さんに相談した。

すぐに現場へ駆け付けた2人と共に婦人宅に電話をしたり、大きな声で何度も呼び掛けたりしても応答がなかったため、家に入ってみると、足を骨折して動けなくなっていた婦人を発見。警察などに通報した。

その後、警察官によって盲目の息子も病院に保護された。

機転を利かせた行動が人命救助に結び付いた。

人事紹介

【男子部】

▼箇男子部長=上田経一(小牧)

【男子未来部】

▼中部副未来部長=清水洋一

プロフィル

配達歴40年。南池田区・大磯支部。支部副婦人部長。1983年入会

〝献身の精神〟胸に活躍

南池田区 桜支部 木村利秋さん

名古屋市桜消防団員の木村さん=地区部長、写真=は、今年で入団29年を迎える。

「万が一の火災に備えて訓練を重ねる他、防火・防災の啓発運動にも取り組んでいる。また、地域の諸行事の運営に携わるなど、幅広く活躍。昨年には副団長に任命され、近隣の安心・安全を守る使命に駆ける日々だ。

「学会での薫陶が、全ての活動に生きています」と語る。男子部時代、中部草創の中心会館警備を。この時、培った〝献身の精神〟を胸に、地域でも信頼を広げてきた。

18年前、次男が17歳で相撲。悲しみに沈む中、同志の励ましに奮起し、不退の信心を貫いてきた。現在、長男が区男子部長として後継の道を歩んでいることが「報恩の思いで尽くしていきます」

清掃活動に汗を流す

名東区 つつじが丘支部 松永裕美子さん

名東区にあるマンモス団地・猪子石荘の清掃ボランティアグループ「虹の会」で長年、活動する松永さん=支部婦人部長、写真左から2人目。

〝地域のために〟と毎月1回、メンバーと団地の美化に汗を流す。

また、団地の集会所で、住民交流のための「ふれあいカフェ」を毎週1回に開くグループに所属。さらに、民生委員を12年間務めるなど、地域に貢献し、友好を広げている。

31年前に一家で入会した松永さん。2004年に、夫・辰也さん=社年1回、メンバーの飲食店が経営難で閉店。〝今こそ信心で立ち上がろう〟と夫婦で真剣に祈り、夫の再就職を勝ち取るなど、数々の苦難を乗り越えてきた。

「〝人の幸福に尽くした分だけ自分も幸福になる〟との指針を胸に、貢献の行動を続けていきます」

愛する町の発展のために、誠実な行動を貫く学会員の活躍が各地で光っている。ここでは、〝地域貢献こそわが使命〟と、信頼の輪を広げる4人の友を紹介しよう。

地域貢献に励む友

わが町こそ使命の舞台

「青パト」で自主防犯を

海部希望圏 南美和支部 山久みよさん

自主防犯パトロールカー(青パト)に乗り、地域を巡回する山久さん=婦人部副本部長、写真右端。

8年前、地域の有志による自主防犯パトロール団体「すみれの会」を設立。小学校の通学路などを中心に、週5回、朝と夕方に見回りを行っている。

2011年には、津島警察署から「優良防犯ボランティア団体」に認定されている。

〝周囲の人に信頼される自分になろう〟との思いから、地域貢献に取り組み続けて38年。旧・美和町婦人会長なども歴任してきた。

これまで、幼かった次女と三女を相次いでなくし、自らも心臓の病を患うなど、苦難に襲われたが、信心根本に乗り越えてきた。

「地域の皆さんや、子どもたちのために尽くせることに感謝でいっぱいです」と笑顔が光る。

交通安全を願い奮闘

西豊川圏 代田支部 塩見敏雄さん

豊川市内の交差点で、誘導棒を手に交通整理に奮闘する塩見さん=地区幹事、写真。

市から委嘱され交通安全指導隊員として交通安全週間や「交通事故ゼロの日」を中心に任務に当たる。

塩見さんの地域を思う心は、幼い日の戦争体験が原点だ。1945年8月7日、市内の軍需工場「豊川海軍工廠」が爆撃を受けるさまを目の当たりにした。変わり果てた町の風景を前に、〝いつか故郷のために尽くしたい〟と固く誓った。

15年前、定年を機に同指導隊員の活動を始めた。真剣な姿が信頼を集め、2010年に分隊長に就任。昨年、県警察から感謝状が贈られた。

大阪会の支部議長として友の励ましに全力の塩見さん。

「いつまでも若々しく、郷土の安全を守っていきます」

幸福の大道を朗らかに 女子部 堅実工女会

〈心に刻む御書〉

「苦をば苦とさとり楽をば楽とひらき苦楽ともに思い合せて南無妙法蓮華経とうちとなへゐさせ給へ」(四条金吾殿御返事、1143ページ)

〈私の挑戦〉

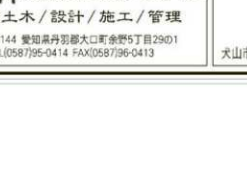
20歳の時、椎間板ヘルニアを克服。信心への感謝を胸に、学会活動に励んでいます。

毎月行っている分県の堅実王女会の集いでは、指導集『青春の光彩』を学び合い、歌やダンスなど〝また会えない〟と思ってもらえるよう工夫を凝らしています。また〝信の声を形に〟と毎回、アンケートを取り、リーダーへの思いが強くなっています。

(華陽の決意)

広布と社会で〝なくてはならない人〟を目指し、聡明な女性へと成長します。(部長)

西尾圏リーダー 河本由佳梨さん



〈心に刻む御書〉

「深く信心を発して日夜朝暮に又懈怠なく勤べし何様にしてか慰べきぞ只南無妙法蓮華経と唱へたてまつるを是をみがくとは云うなり」(一生成仏抄、384ページ)

〈私の挑戦〉

昨年末から毎月、総県と区で交互に堅実王女会の集いを開催。〝来てくれた人に喜んでもらえるように〟と堅実のリーダーたちと、真剣に話し合いを重ねています。

今月の総区の集いでは「対話をテーマに、ゲームやディスカッションをにぎやかに行いました。今後も、皆で楽しく信心を深めていきます。

(華陽の決意)

眉目を根本に、仕事と女子部の活動に全力で挑戦し、生涯崩れない幸福境涯を築いていきます。(部長)

緑総区リーダー 平岩純麗さん

記念月間

知多圏(知多国際圏)

(氷野智照圏長、中島千代子婦人部長)が6・21(園の日)を祝し、6月1日から念月間をスタートする(21日まで)。モットーは〝対話拡大で前進前進!〟。師の知多初訪問30周年を勇気の挑戦で飾ろう。

岡崎南圏(田中俊雄圏長、小林智子婦人部長)が、6・27(園の日)を記念して、6月1日から「いざ前進! 勇気と希望の拡大月間」を展開する(30日まで)。池田S

使命の道 無冠の王者

南区 棚橋玲子さん

関静な住宅地で自転車をこぎ、本紙を届ける棚橋さん。購読推進にも率先し、中には10年以上の愛読者も。

かつて子宝に恵まれず悩んでいたが、眉目を胸に無冠の道を朗らかに走る。

棚橋さんは「娘がいて40歳の時に長女・つか聖教を配りたいと願い、ようやく授かった」と明かす。

夫の聖さん=副支部長=も23年間、代配を。夫婦で感謝の思いを